

小杉駅周辺地区における新校設置に関する基本合意について

小杉駅周辺地区における近年の大規模、複数の共同住宅の建設による児童増加等の課題に的確に対処するとともに、学校法人日本医科大学が検討を進める再開発構想による川崎再生フロンティアプラン等の計画に位置付けられた良好なまちづくりを着実に推進するため、同大学用地への義務教育施設の設置に向け、相互に協力することについて、本日、同大学と基本合意いたしました。今後、新校設置に向け、具体的な条件等について協議してまいります。

1 新校設置予定地

学校法人日本医科大学用地の一部（川崎市中原区小杉町）

2 基本合意の背景

小杉駅周辺地区は、「川崎再生フロンティアプラン」において『民間活力を活かした魅力ある広域拠点の形成を図る地区』として位置付けられ、「都市計画マスタープラン小杉駅周辺まちづくり推進地域構想」においては『魅力あふれる広域拠点づくり』等による福祉・教育施策等と連携した各世代が豊かに暮らせるまちづくりの推進など、まちづくりの方針等が示されている。さらに、小杉駅北部地区は、「医療と文教の核」として、大学病院を中心とした福祉、医療、教育、都市型居住、商業が複合した高度医療福祉拠点の形成を図ることとされており、学校法人日本医科大学は、当該小杉駅北部地区内（川崎市中原区小杉町）において、再開発構想の検討を進めている。

一方で、小杉駅周辺地区は、近年の大規模かつ複数の共同住宅の建設により市外からの人口流入が続いており、今後も児童等の増加が見込まれるため、新たな義務教育施設の設置を含め、義務教育施設の環境整備は、同地区における喫緊の課題となっている。

3 主な経過

- ・平成20年9月 川崎市教育環境整備推進会議を設置
(全庁的な観点から児童増加等の課題への具体的対応策について検討着手)
- ・平成21年11月 「児童生徒の増加に対応した教育環境整備の基本的な考え方と当面の対応策について」策定
(新校設置の可能性も含め対応策を検討)
- ・平成22年5月31日 学校法人日本医科大学と基本合意書の締結
(新校設置に向け協力。今後、具体的な条件等について協議)

小杉駅周辺地区

